

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.02.21~02.25

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月21日(月)

高機能繊維、上海で試験販売
布地・服飾 / 3月に展示会

経済産業省は、中国で高機能繊維製品をテストマーケティングする。3月に上海で展示会。現地服飾メーカー向けの布地販売と、高機能繊維を使った服の販売の両面で現地の反応を確認。(2面)

三菱電機、中国2割増産
放電加工機 / 月140台

三菱電機は中国での放電加工機の月産能力を2011年中にも約2割増の約140台に引き上げる。自動車や電機関連のほか、スマートフォン関連の旺盛な設備投資意欲に対応する。(7面)

中国向け広報、活況
日系進出増え事業強化

中国に進出する日本企業の増加に伴い、広報宣伝業界が活況を呈している。ビルコムは上海億目広告と経営統合し、インターネットを活用した広告宣伝事業を強化する。(20面)

2月22日(火)

村田発條、無錫に新工場
自動車向けパネ

村田発條は、無錫市で自動車向けパネの生産に乗り出す。現地法人を設立、新工場を10月に稼働。約5億円投資。同社製のパネは商用車を中心に使われ国内トップクラスのシェアを持つ。(5面)

ASIA

2月21日(月)

融資42億円で貿易保険
ベトナム電力プロ / 三井住友銀

三井住友銀行と日本貿易保険は、ベトナムの水力発電プロジェクトで、三井住友銀行が行う融資約42億円で貿易保険を付ける。NEXIのベトナム民間電力融資への貿易保険は初めて。(1面)

シンガポール企業を買収
NTTデータ / 東南アでBI強化

NTTデータは東南アジアでのBI(データの分析・活用)事業を強化するため、シンガポールのコーナーストーンを買収した。コーナース社は銀行・保険・ヘルスケア向けが主力。(9面)

シンガポールで排水処理を実証
日立プラントテクノ

日立プラントテクノロジーはシンガポールで産業排水処理技術の実証を始める。30%少ないエネルギーで排水中のフッ素化合物を除去し、処理水を再利用する実験プラントを4月運転。(13面)

ベトナムで油・ガス層発見
出光など / ホーチミン南東

出光興産、JX日鉱日石開発、国際石油開発帝石は、ベトナム南部海上の探鉱鉱区の試掘で新たな油・ガス層を発見。ホーチミンの南東2900~3600mの深度に、油とガスの集積を確認。(13面)

露、北方領土で中韓と合併
日本、一層厳しく

国後島でロシアと中国、ロシアと韓国の民間企業がそれぞれ合併事業が持ち上がり、各方面で懸念が広がっている。中韓からの投資が現実すれば、日本の立場は一層厳しい状況になる。(20面)

2月22日(火)

「新幹線」輸出、次のチャンスは
新興国の都市鉄道に期待

新幹線のフロリダへの輸出は中止となった。官民挙げて取り組んできた日本勢は「フロリダだけではない」(経産省関係者)と冷静。アジアや中東など新興国での都市鉄道向けが見込める。(2面)



重鉄道分は野インフラのシステム輸出の(N700系)



中国・英語にも対応
ブラ成形管理 / ムラテックメカトロ

ムラテックメカトロニクスは、プラスチック成形工場専用の生産管理システムで、中国などの海外市場を開拓する。日本語のほか、英語、中国語を追加。海外工場向けを40%程度に。(6面)

日本電産サーボ、上海に拠点
通信基地局向けファン

日本電産サーボは主力のファン事業で、3.9世代移動通信規格向け通信基地局を対象に営業体制を拡充する。月内に上海に営業拠点を設立。ノキアに加えて、新たに数社に標準。(8面)

松島機械研、中国・タイに新拠点
相次ぐ高炉新設に対応

松島機械研究所は、夏までに中国・西安市とタイ・バンコク市に駐在員事務所

を開設する。主要顧客の鉄鋼業界は中国やインドなどで高炉を含む設備の新設計画が相次いでいる。(25面)

2月23日(水)

三井物産、「発電」を倍増
中国・北米・中東に重点

三井物産は、2015年に電力卸事業(IPP)の持ち分発電容量を現在の2倍の1万2000MWに引き上げる。中国や北米、中東などを重点地域にして発電所の新設や買収を進める。(1面)

医薬品開発受託機関と合併
シミック / 多国籍間臨床試験の支援

シミックは、中国の医薬品開発受託機関(CRO)である普瑞盛(北京)医薬技術開発に21%出資し、合併会社を設立する。アジアで多国籍間臨床試験の支援

から医薬用ガラスの生産を始める。20億円投資。新たにガラス溶解炉と成形設備を設置する。欧米や中国、インドなど海外での需要拡大に対応。(13面)

2月24日(木)

三井造船、韓国製鋼板を採用
コスト10%削減 / 国内大手で初

三井造船は、韓国・ポスコから調達した船舶用鋼板をばら積み貨物運搬船の船体に採用した。国内造船大手で初めて。厚板は船舶建造コストの30%程度。建造コストを10%以上引き下げる。(1面)



げ建造成造コストを10%以上引き下(三井造船千葉事業所)

造船、海外調達を加速
為替厳しく / コストのドル化

造船の収益見通しが懸念されている。中国や韓国との競争激化で受注単価が低迷、80円台前半の為替水準は厳しい。造船大手では「コストのドル化」を進めるべく、資材の海外調達を加速。(6面)

韓国・鉄鋼、造船向け増産
現地生産進む

韓国で造船用厚鋼板の能力増強が相次ぐ。ポスコと、JFE系東国製鋼の2社に現代製鉄が参入。韓国の造船業界は、日本の高炉には重要な輸出先。現地化が進めば、日本勢にはマイナス。(13面)

ダイハツ、インドネシア新工場
小型車年10万台 / 200億円投資

ダイハツ工業は、インドネシアで新工場を建設する。2012年末の稼働。約200億円投資。年産能力10万台。従来よりも低価格な1000cc前後の小型車。現地生産能力は6割増の年43万台。(5面)

スリランカ部品、日本に進出
ジェットロが支援

ジェットロは、自動車のフロアマットなどを製造するスリランカのゴム部品8社の日本への販売進出を支援する。小冊子を作成、自動車業界や商社に配布。主力のゴム産業を急ピッチで育成。(5面)

マルカキカイ、アジア人員倍増
インド・インドネシア・ベトナム

マルカキカイは、2013年までにインド、インドネシア、ベトナムの各拠点の増員、現地化を推し進め、海外売上高を引き上げる。各拠点をほぼ倍増し、経営幹部にも現地社員を起用する。(7面)

タイIPP大手に出資
東電・三菱商事 / 230億円

東京電力と三菱商事は、タイの大手独立発電事業者(IPP)EGCOに出資

を推進する。(3面)

日中の中小製造業マッチング
NCネットチャイナ / 上海で商談会

日中の中小製造業をマッチング。NCネットワークチャイナは、9月6、7日、上海世貿商域で「日中ものづくり商談会@上海2011」を開催する。中国最大規模の商談会。(4面)

射出成形機、中国に拠点
ニイガタマシンテクノ

ニイガタマシンテクノは、広東省東莞市に射出成形機の営業・サービス拠点を設立。上海市に設立した現地法人「新湯機械科技(上海)」の分公司。上海・華南ともに2000台の販売実績。(7面)

愛知製鋼、ネオジム磁石生産
上海に新工場 / 工具・モーター向け

愛知製鋼は、2012年にも中国でネオジム磁石の生産を始める。5億円投資、上海市近郊に新工場。日本から供給する磁粉を成形。中国では電動工具や車載用小型モーターなどの需要が拡大。(13面)

2月24日(木)

22カ月ぶり貿易赤字
1月 / 4714億円赤字

1月の貿易統計は、輸出額が前年同月比1.4%増の4兆9714億円となり、伸び率は低水準。輸入額は同12.4%増の5兆4428億円で、貿易収支は4714億円の赤字。1年10カ月ぶり。(2面)

LNG基地、元請け積極化
東京ガス・エンジ

東京ガス・エンジニアリングは、中国事業を強化する。中国の液化天然ガス(LNG)基地の需要が高まっているこ

とから、基地建設の元請けの受注を積極的に狙う。(15面)

日本の介護事業者進出相次ぐ
大阪府経営合理化協が講演会

大阪府経営合理化協会などが講演会。太陽シンクスの北浦慎三社長が、日本の介護事業者の進出が相次いでいることや転職に抵抗のない仕事観など、中国事情を語った。(33面)

2月25日(金)

「パンダ」やさしく運ぶ
ストレス軽減 / 阪急阪神エクス

パンダの輸送はストレス軽減がカギだった。輸送した阪急阪神エクスプレスは「トラックのクッションを効かなくした」。エアサスペンションがもたらす揺れてパンダは気分が悪くなる。(1面)

蛇の目、卓上ロボ中国拠点
上海 / 正式発表

蛇の目マシン工業は、上海市内に卓上ロボットやサーボプレスなど産業機器の販売、技術サポートを手がける現地法人を4月中旬に設立すると正式発表した。現地の販売代理店も開拓。(9面)

TELOP

香港で人民元建て決済
滋賀銀行(23日17面)

日中戦略対話、2年ぶり次官級
東京で28日(25日2面)

東レ、青島でRO膜受注
飲料水日量10万ℓ(25日18面)

王子紙中国工場にオゾン発生装置
三菱電機(25日18面)

ひと

力のある地場は採用
「中国で部品の現地調達率は60~65%程度。3年後をめどに75%に引き上げたい」と意欲的なのは、アルパイン常務の森岡洋史さん。ただ主要な半導体などは日本製が多く割合。そこで「高級機では日系の海外生産部品、入門機では地場企業の部品を使う。力のある地場企業は中級機にも採用したい」。(21日=6面)

環境輸出の懸け橋

環境省は中国の低炭素モデル地域事業に協力する。「中国の第12次計画の中で、低炭素モデル地域は温暖化対策のシンボリックな事業」と説明するのは環境副大臣の近藤昭一さん。日本の環境産業との連携も視野に入れ「そういう方面に広げていければ」と、技術輸出の懸け橋的事業への成長に期待する。(24日=15面)

「日本品質」を発信

日本ハム社長の小林浩さんは「中国、タイ、米、米、欧州など12カ国に進出しているが、アジアを中心に日本向けの調達拠点だけでなく、現地での販売拠点、第三国への輸出拠点の機能を付加する。特に中国は経済成長に伴って肉類の消費量が加速的に増える。『日本品質』製品を海外でも発信」。(24日=17面)

バイオ・環境などで連携
産総研・インドネシア技術庁

産業技術総合研究所とインドネシア技術評価応用庁は、環境・エネルギー分野などの研究開発で覚書を結んだ。ナノバイオテクノロジー、医療技術、バイオマス、海洋調査など連携を強化。(24面)

「白物」で東南ア・インド攻略
電機大手 / 現地仕様の製品

電機大手が東南アジアやインドで白物家電を強化。日立製作所は、エアコンで価格を落とした新モデルを展開。パナソニックもアジア市場攻略に向け、現地に特化した商品を開発。(11面)

東南アジアの白物家電事業	
東芝	タイと中国で冷蔵庫や洗濯機の開発人員増強を計画。シンガポールにセールスマーケティング拠点を新設
日立製作所	海外家電の売上高を2012年度に500億円(09年度は400億円)を目標
パナソニック	インドで4月にエアコンの現地工場を着工、12年3月から現地生産を開始する計画
シャープ	昨年タイ工場を増強。東南アジアでの白物家電の需要拡大に対応。冷蔵庫やエアコン生産を拡大するとともに、昨年末から洗濯機の生産もスタート
三菱電機	昨秋、インドに総合販売会社を設立。エアコンは従来の高級機種に加えて、今後は普及価格帯の製品も展開へ
三洋電機	ベトナム市場で洗濯機、冷蔵庫でシェアトップ。洗濯機の操作パネルを右側に置くなど、現地仕様に合ったモデルを展開

TELOP

次世代電力網に71億ドル投資
韓国電力公社(21日13面)

日本ゼオン、韓国に統括会社
光学フィルム(22日10面)

インドネシアLNG船入港
東北電力(23日14面)

インド社と深海石油・ガス提携
英BP72億ドル投資(23日14面)

ベトロベトナム証券と資本提携
日興コーディアル(23日17面)

タイにゴミ中継設備一式納入
新明和工業(24日6面)

タイ石油備蓄拡大へ投資
PTTEP(時事=4日15面)

ひと

愚直に一つずつ
「今年、ベトナムの干支は『猫』年で、思慮深く動かなければならないベトナムにとって猫年は合っている」と、アジア開発銀行ベトナム駐在員事務所所長の小西歩さん。2020年の工業国入りへ「環境や金融セクターの能力、行政・社会制度が課題」と指摘。「愚直に一つずつ対策をとっていくしかない」。(21日=20面)